

アバンセ NOW

情報誌

Vol. 116 2025.2

旅館あけぼの
5代目代表取締役 おとなり あみ 音成 亜美さん

1976年佐賀市生まれ。大学卒業後、国内外の大手食品メーカーで長らく消費財マーケティングに従事。2021年にUターン。2023年、実家の家業である『旅館あけぼの』5代目代表取締役に就任。現在は本業のかたわら、県庁通り商店連盟のイベントの企画・運営や、テレビ番組のコメンテーターをつとめるなど活躍の場を広げている。アバンセでは「県民講師基本とスキルアップ講座」で講師をつとめた。令和6年度より、女性の活躍推進佐賀県会議・企画委員会、企画委員もつとめている。



CONTENTS >>

P2-3 生涯学習センター
特集インタビュー
旅館あけぼの 5代目代表取締役
音成 亜美さん

P4-5 男女共同参画センター
・「女性のためのエンパワーメントセミナー」のご案内
・令和6年度 県民グループ企画支援事業の紹介

P6-7 佐賀県DV総合対策センター
・男性・男児の性暴力被害者支援を拡充しました

P8 開館30周年記念イベントを開催しました



その人の良さを

パフォーマンスも

ぐっと引き上げる

お手伝いができるって

楽しい！

旅館あけぼの 5代目代表取締役

おと なり あ み
音成 亜美さん

旅館業に地域活動、テレビ出演、そして小学生3人の育児…そんな多忙な日々の最中でも、常に飾らない人柄と、とびきりの笑顔で多くの人を包み込む音成亜美さん。“誰かのため”を思いながらも“わたらしい”生き方を全力で楽しむ音成さんに、これまでのこと、そして自身が活動する上で大切にしている『5つのコト』を聞きました。

原点は銀天夜市

大学進学を機に上京。卒業後は国内外の大手食品メーカーでマーケティングに従事し、海外プロジェクトも経験するなど、着実に自身のキャリアを築いてきました。一方で、いずれは佐賀に帰ろうと決めていたといいます。根底にあったのは旅館を引き継ぎたいという気持ちと、子どもが幼いうちは、子育ては佐賀でいたいという想い。しかし新型コロナウイルスの感染拡大で状況が一変。旅館も休業状態に追い込まれ「今継ぐことはできない」とリスクの大きさにたじろぎました。

それでも佐賀に帰る決断を後押ししたのは、幼い日の賑やかな銀天夜市の記憶でした。「非日常のものが日常の中にあるって、子どもながらに楽しくて、そういう思い出が呼び戻したのかな」と振り返ります。2021年に帰郷後は、リモートワークで東京の仕事を続けながら“継承する”タイミングを探っていました。そんな折、突然父を失います。「きっとタイミングだったんだろう」。旅館を繋いでいくことを決断しました。

日常の楽しさを伝えたい

様々な地域活動も引き継ぎました。その一つが、県庁通り商店連盟の活動です。「自分が入って何ができるだろう」。やはり頭に浮かんだのは、かつての銀天夜市の風景でした。夏休みの間、100円玉を握りしめ、友人と連れ立って毎週通った夜市。みんなで食べた、流しそうめんの楽しい思い出がよみがえります。「そういう日常の楽しさを今の時代に合った形で提供できないか」と考えたのが、夜空の下で映画を楽しむイベント『ムーンライトシネマ佐賀』でした。



旅館のイベント時には家族が集合
(右端が父・日佐男さん)



昨秋開催されたムーンライトシネマ佐賀



ムーンライトシネマ佐賀で綿菓子を作る音成さん

イベントには、映画上映のほか、うなぎの骨せんべいや旅館のお弁当など、県庁通りならではの飲食も並びます。また地区の小学生が、授業の一環で制作したペットボトルの提灯を展示するなど、回を重ねるうちに、地域内で世代を超えた多くの交流も生まれました。「大人になったとき『自分の故郷っていいよね』って、私が思ったようにみんなの心にも残っていてほしい。子どもたちや若い人たちのいい思い出作りをしたい」と願います。

“らしさ”を引き出すお手伝い

多忙な日々の中でも“わたらしさ”を楽しむ気持ちを忘れない音成さん。その原動力は「常に“人生1度きり”と思っているから」だそう。「何かお話をもらって、大変そうだなあと思って、人生1回きりだからやっちゃおうか！と思ってしまふ」と笑います。

昨今は、県のまなび課の事業「弘道館2」のファシリテーターや、地元テレビ番組のコメンテーターをつとめるなど、活躍の場が広がっています。アバンセでは「県民講師基本とスキルアップ講座」で初めて講師を経験しました。

「みんな、普通に生活するためだけに、好きなのかどうかかわからずに仕事をしたり、逆にそれが天職なのかもしれないけど、気づかずに過ごしたりする人は、いっぱいいると思う。人は、本当に楽しいことをやっている瞬間や、得意なことをやる時が、一番パフォーマンスが上がるって私は信じていて、それを、ちゃんと引き出すことがファシリテーターや講師の役目なのかなと。佐賀に



講師をつとめた『県民講師基本とスキルアップ講座』

帰ってきて、私がそういうお手伝いを周りの方にできるってすごい楽しいと思いました。私、お節介なのかもしれないね」とはにかみます。

昨秋行われたSAGA2024国スポ・全障スポ期間中は連日、仕事の合間を縫って、旅館に宿泊した選手の応援にもかけつけました。「佐賀に住んでいる人たちも、外から来る人たちも、みんなの心がもっと豊かになってほしい。その想いを軸に、ぶれずに色々やっていきたい」と目を輝かせました。



講座では受講者1人1人との対話を大切にしました



音成さんが活動する上で大切にしている “5つのコト”

1 チャレンジ

行ったことのないところに足を踏み入れたり、できるかどうかかわからないけど、ちょっと覗いてみたりするのが好き。人生一度きりだから！

2 わくわく♪

楽しむこと、遊び心を持つこと。

3 巻き込み

わくわく♪することに周りを巻き込んで、一緒に盛り上げていくのが好き！



ココを大切に
しています！

4 フリーダム

環境や状況をリサーチして、自由に場を組み立てて、楽しさを見つけていくことが好き。

5 ユーモア

笑う門には福来たる！
苦しいことがあっても笑ったり、その状況を茶化したり…
少しでも明るくすることで、解決の突破口が見つかる。

「女性のためのエンパワーメントセミナー」のご案内

男女共同参画センターでは、女性を対象に、身近なジェンダー課題について学び、自分らしい生き方を考えるセミナーを開催します。1回ごとの参加ができます。ぜひ、ご参加ください！

① 2/15(土) 13:30～15:30 「コーヒーと一緒に『わたしらしさ』を考える」

おいしいドリップバッグコーヒーの淹れ方のコツを学び、コーヒーを片手に、「わたしらしさ」や「わたしらしい生き方」を考えます。

【講義】

矢内 琴江さん(長崎大学ダイバーシティ推進センター 副センター長)

【コーヒーの淹れ方と活動紹介】

諸石 紋子さん(自家焙煎珈琲goen 店主)



② 3/8(土) 13:30～15:30 「カリスマ書店員presents 国際女性デーに読みたいイチオシの本」

3/8の国際女性デーに読みたいオススの本と一緒に、身近なジェンダー課題について学びます。

【講義】

矢内 琴江さん(長崎大学ダイバーシティ推進センター 副センター長)

【本の紹介】

本間 悠さん(佐賀之書店 店長)



【①②とも】 場所 アバンセ3階 美術工芸室 対象 関心のある女性 各回20名程度(定員になり次第締切)

3月8日は 国際女性デー

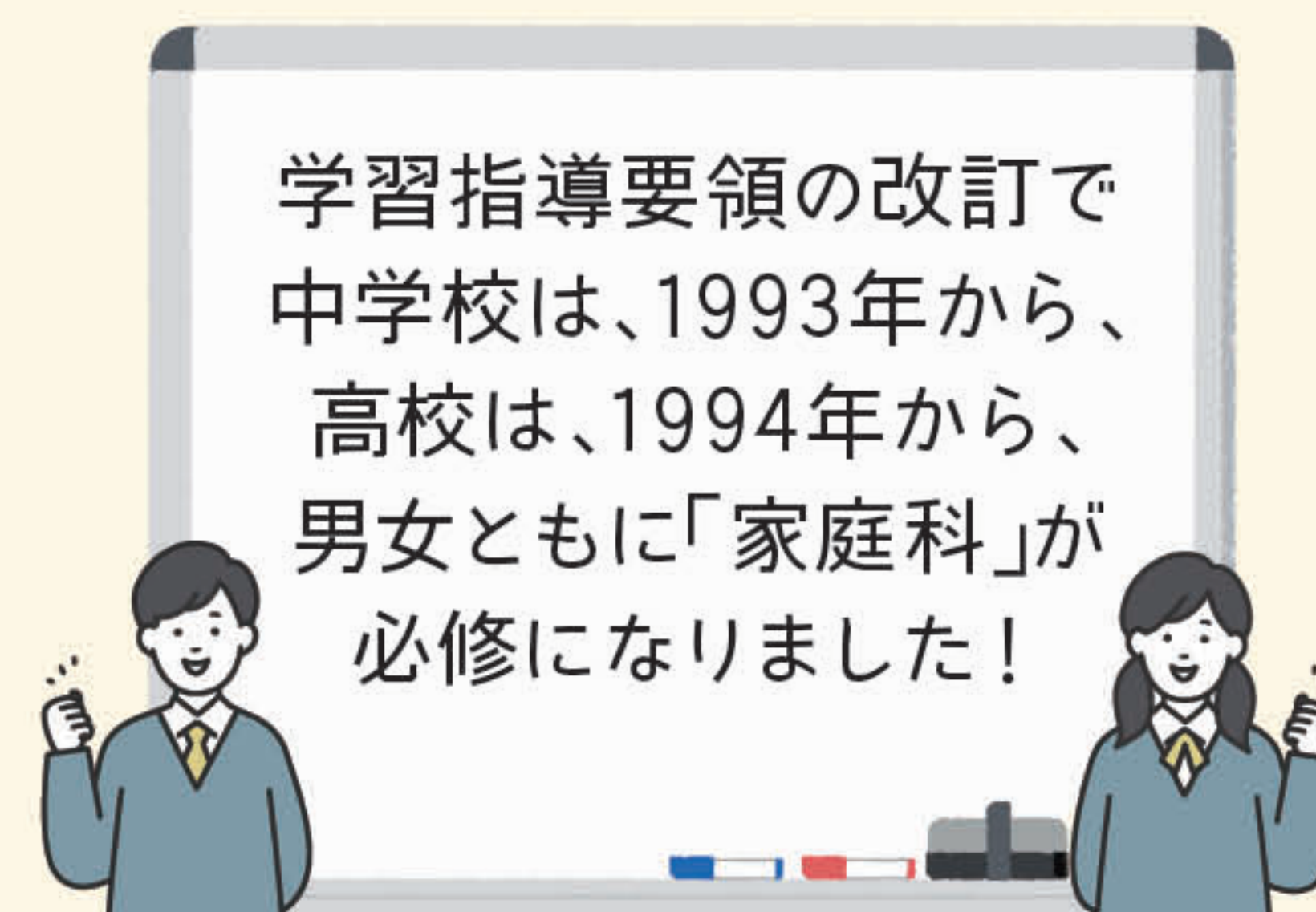


1904年、アメリカで婦人参政権を求めたデモが起源となり、
1975年、国連により 3月8日は、「国際女性デー」に制定されました。
「国際女性デー」は、女性の社会的、経済的、政治的な成果をたたえる日です。

「女性差別撤廃条約」と日本のジェンダー平等に向けた取り組み

「女性差別撤廃条約」(1981年発効)を、日本は1985年に批准しました。この条約を批准するために、男女雇用機会均等法の整備や国籍法の改正、学習指導要領の改訂など、女性に差別的とされた制度や仕組みを改善してきました。その流れは、「男女共同参画社会基本法」(1999年公布施行)につながっています。

「女性差別撤廃条約」は、機会の男女平等だけでなく、実質的な男女平等を目指しています。締約国は、数年ごとに国連の「女性差別撤廃委員会」の審査を受けることとなっており、日本に対する審査が、2024年10月に8年ぶりに行われ、勧告が出されました。その一部を紹介します。



2024年10月「国連女性差別撤廃委員会」の勧告より

● 前回(2016年)より改善できたこと

- ・結婚年齢: 男性18歳・女性16歳だったのが、男女ともに18歳に
- ・女性の再婚禁止期間: 100日間が廃止に
- ・性交同意年齢: 13歳から16歳に引き上げ など

● 今回の勧告で改善を求められたこと (一部抜粋)

- ・民法改定による、「選択的夫婦別姓」の導入を
(法律で「夫婦同姓」を義務付けているのは、世界で日本だけ、勧告は今回で4回目)
- ・緊急避妊薬を利用しやすくし、人工妊娠中絶に必要な配偶者の同意要件の削除を
- ・人権侵害を受けた個人・団体が国連女性差別撤廃委員会へ直接申し立てができる「選択議定書」の早期批准 など

国連女性差別撤廃委員会の勧告に法的拘束力はありませんが、日本政府には、「選択的夫婦別姓」などの取り組み状況を2年以内に報告するよう求められています。「女性差別撤廃条約」が目指すジェンダー平等な社会を実現するために、私たちも、日本の女性の人権状況を改善し、ジェンダー格差の解消について自分ごととして考えていくことが必要です。



令和6年度 県民グループ企画支援事業

佐賀県立男女共同参画センターでは、男女共同参画社会づくりをめざしセミナー・研修等の企画・実施に取り組む県民グループを支援する「県民グループ企画支援事業」を実施しています。今年度支援した8企画を紹介します。



日常に潜む ジェンダーバイアスに気づく ワークショップ

実施グループ

Mimosequal
(ミモザイコール)

企画内容

身近に潜んでいるジェンダーバイアスに気づき、共有し、考える、全4回のワークショップを開催しました。



さが・女性政治塾2024公開講座 「女性議員を増やすために、 今私たちができること。」

実施グループ

特定非営利法人
女性参画研究会・さが

企画内容

講座を通じて、女性が政治参画することの重要性と政治のおもしろさについて学びました。



ダブルケア(子育てと介護)と 防災(自助・共助って何だろう?!)

実施グループ

ダブルケアさが紬麦(つむぎ)

企画内容

講演と講話、グループワークを通して、ダブルケアを担う人とダブルケアを支援する人、それぞれに必要な防災の意識と備えについて学びました。



恥ずかしくなんかない！ 誰にでも起こる尿もれの話

実施グループ

NPO法人
poco a bocca(ポコアボッコ)

企画内容

全5回の連続講座を開催し、尿もれについて基礎知識から予防対策まで、医療の専門家の視点から正しい知識を学びました。



8企画を ご紹介します！

全国シェルターシンポジウム 2024in神戸[研修参加]

実施グループ

ひとひとネット武雄

企画内容

「全国女性シェルターネット」全国大会に参加し、これからの女性支援について学び、活動のヒントを得ました。



わたしたちの『はてっ？』 ～「虎に翼」から考えるジェンダー～

実施グループ 「はてっ」の会

企画内容

ジェンダーをテーマにリレートークとワークショップを実施し、ジェンダーに対する気づき、改善について考えました。



茶道の体験と 世界のジェンダー交流会

実施グループ

共同参画ネットワークたけお

企画内容

在留外国人と参加者が茶道やその国の文化に触れながら、ジェンダーや子育て、政治の違いについて語り合い、多様な価値観を学びました。



未来を担う心豊かな子どもたちを 育成するためには...今

実施グループ

佐賀県翼の会

企画内容

次代を担う子どもたちを取り巻く様々な環境の現実をしっかりと見つめ、いま大人たちが出来ることはなにか？を講演とフォーラムを通じ、考えました。



身近なところから男女共同参画社会づくりをめざし、
みなさんもチャレンジしてみませんか？

各企画の
詳しい内容は
こちらから



男性・男児の 性暴力被害者支援を拡充しました

性暴力被害者のためのワンストップ支援センター『性暴力救援センター・さが(さがmirai)』では、性別に関わらず、性暴力被害者の相談を受け付けています。令和7年1月に男性・男児に対する支援を拡充し、性別に関係なく医療支援とカウンセリングを受けられるようになりました。

	女 性	男 児 (15歳以下)	男 性 (16歳以上)
相談支援	○	○	○
医療支援 (診察・検査等)	○	○	○
カウンセリング	○	○	○

NEW

性暴力って？

あなたが望まない、同意のない性的行為は、すべて性暴力です。
相手との関係、あなたの年齢、立場、性別などは関係ありません。

もし被害にあったら...

あなたの大切なところと身体、そして、あなたの将来のために、ひとりで悩まず、
まずは、#8891にお電話ください。

医療ソーシャルワーカーや相談員があなたのお話を伺い一緒に考えます。
自分を責める必要はありませんし、あなたは何も悪くありません。

一緒に考えていきたいこと

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|
| ☐ 性感染症の心配について | ☐ 妊娠の心配について | ☐ 警察への相談・通報について |
| ☐ 損害賠償の請求について | ☐ 秘密の保持について | ☐ あなたのこれからについて |

センター・さが
mirai

さがmiraiの思い

- ・mine:私のも＝私のからだは私のも
- ・rainbow:虹＝雨上がりの回復の象徴

さがmiraiにできること

電話・面談 による相談

性暴力被害に関する
相談をお受けします。
相談は無料です。
秘密は厳守します。

診察と検査

診察や性感染症などの
検査を行います。
医療費などの公費負担を
受けられる場合もあります。

カウンセ リング

臨床心理士や
公認心理師による
カウンセリングに
つなげます。

他の支援先と ともに

弁護士やカウンセラー、
警察などと連携し、
ニーズに応じた
情報の提供や支援を行います。

家族や友人の方へ

大切な人の性暴力被害を知ること、あなた自身も動揺したりショックを受けたり、
あるいはその事実をみとめたくない気持ちがわいてくるかもしれません。

加害者への怒りを感じることもあるでしょう。

しかし、被害を受けた大切な人へは、あなたの気持ちをぶつけずに、
ただ受け止めてあげてください。

そして、さがmiraiへの相談を勧めてください。

さがmiraiでは、ご家族や友人からの相談もお受けします。



性別に関わらず相談をお受けしています。

性暴力救援センター・さが (さがmirai)

は や くワンストップ
☎ **#8891** (全国共通番号)

365日・24時間対応

さがmiraiは、地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館に設置されています。



Cure Time (キュアタイム)

<https://curetime.jp/>
SNS・メール・外国語での
性暴力に関する相談

365日・17時～21時

Cure Timeは、内閣府が実施する相談サービスです。



さがmiraiに関するお問い合わせ

佐賀県DV総合対策センター(アバンセ内) TEL.0952-28-1492

男女共同参画フォーラム
トークゲストpecoさん

多くの方に
ご来館いただきました!

イベントのスタートは
唐ワン体操!

県内で活動中の
団体や高校生による出展♪

県民カレッジの集い
トークゲスト
小島よしおさん

開館30周年 記念イベントを 開催しました!

2024
11/9・10日

毎年好評☆
まなびフェスタ

アバンセはこれからも
「らしく、あたらしく」

ワクワクとほっりの
ブースがいっぱい♪

パネルやメッセージで伝えたい
大切なこと

ACCESS



- JR佐賀駅から徒歩約10分
- 駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- 開館時間：火～土 8:30～22:00
日・祝 8:30～17:00
休 館 日：毎週月曜日、12月29日～1月3日
- アバンセは佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターの愛称です。
- 「アバンセ (avance)」はスペイン語で「前進」という意味です。
- 『アバンセNOW』はアバンセの今をお伝えする情報誌です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<https://www.e3pa.com>

アバンセNOW
Vol.116 2025.2月号

- 発行・企画／佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)
〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11 TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591
E-mail daihyo@avance.or.jp URL <http://www.avance.or.jp/>
- 編集・印刷／株式会社 三光 伊万里市大坪町乙4161-1 TEL0955-23-5808